

皮膚科

科長 秋山 真志 (教授)

6E

皮膚に関する問題はすべてが守備範囲

皮膚に現れた症状や変化はすべて皮膚科医の守備範囲です。たとえそれが全身性疾患により発症したものであっても、皮膚に関しては当科が治療にあたっています。

診療体制

一般外来：月～金曜日。皮膚腫瘍外来：月、火、水、金曜日。膠原病外来：月、木曜日。魚鱗癬・遺伝性角化異常症外来：水曜日。色素異常症外来：月、木曜日。



対象疾患

皮膚癌（悪性黒色腫、有棘細胞癌、基底細胞癌、パジェット病など）、皮膚良性腫瘍、膠原病（エリテマトーデス、皮膚筋炎、強皮症、シェーグレン症候群など）、遺伝性皮膚疾患（角化異常症・魚鱗癬、表皮水疱症、色素異常症）、アトピー性皮膚炎、じんま疹、その他皮膚疾患一般。

得意分野

皮膚癌や良性腫瘍の診断と治療。皮膚外科手術。センチネルリンパ節生検法による皮膚癌転移検査。膠原病の診断と治療。遺伝性皮膚疾患の遺伝子診断。アトピー性皮膚炎の発症因子、フィラグリン遺伝子変異の検索。

診療実績

皮膚腫瘍の全手術件数は年間450件で、うち皮膚癌は180件（悪性黒色腫50件、有棘細胞癌42件、基底細胞癌44件）。先進医療のセンチネルリンパ節生検は、累積200例。エリテマトーデス、皮膚筋炎、強皮症などの膠原病患者が200名以上通院中。重症遺伝性皮膚疾患の遺伝子診断は累積300例。



専門外来

皮膚腫瘍、皮膚外科、膠原病、魚鱗癬・遺伝性角化異常症外来、遺伝性色素異常症、皮膚科一般。

先進医療・研究

皮膚悪性腫瘍のリンパ節転移を検索する先進医療のセンチネルリンパ節生検法（色素法・RI法・蛍光法の3者併用）。フィラグリン遺伝子変異の検索によるアトピー性皮膚炎のテーラーメイド医療。さまざまな自己抗体の膠原病発症に果たす役割の研究や、診断用自己抗体の測定キットの開発。重症の遺伝性皮膚疾患（魚鱗癬、表皮水疱症、色素異常症や眼皮白皮症）の遺伝子診断、出生前診断。

泌尿器科

科長 後藤 百万 (教授)

10E

幅広い症例に対応する豊富な実績と専門性

尿路性器（腎、尿管、膀胱、尿道、前立腺、陰茎、精巣）疾患の診療を、診断から治療まで包括的に実施しています。

診療体制

教授（診療科長）、准教授、講師（2名）、助教（6名）、医員（5名）にて診療を実施しています。外来は月曜日から金曜日の毎日。手術日は月、火、木、金曜日の週4日行っています。

対象疾患

当科領域の良性・悪性腫瘍、先天奇形、機能的・器質的疾患全般、女性泌尿器科領域疾患（骨盤臓器脱）、排尿障害（神経因性膀胱、前立腺肥大症、尿失禁）、性同一性障害・男性不妊症を含めた性生殖疾患、尿路結石。

得意分野

尿路性器癌（腎癌、前立腺癌など）の腹腔鏡手術・ロボット手術、前立腺癌小線源治療、骨盤臓器脱・腹圧性尿失禁の手術治療、腎移植、神経因性膀胱・前立腺肥大症・尿失禁などの排尿障害診療、尿路結石、癌化学療法。

診療実績

1日外来患者数120～150名、1日平均入院患者数33名、年間手術件数450件、うち腹腔鏡下手術150件（腎臓癌手術80件、前立腺癌手術60件）、腎移植10件、年間小線源治療（前立腺癌）45件。



専門外来

当科一般外来に加え、腎移植、尿失禁・排尿障害、前立腺癌に対して専門外来を実施しています。

先進医療・研究

前立腺癌のロボット手術、精巣癌に対する腹腔鏡下後腹膜リンパ節郭清術、間質性膀胱炎に対する膀胱水圧拡張術を先進医療として実施しています。また自己皮下脂肪由来幹細胞を用いた尿失禁に対する細胞治療の臨床研究を行っています。

